



せるために、トナカイ観光牧場で観光客を増やすイベントとして、トナカイの写真コンテストをし、入賞した人に景品をあげるというような事をしてみたら良いと思います。

**【答弁要旨】** 幌延町の人口は、今から六十年以上前、約七千五百人だったのをピークに、今では二千四百人まで減ってしまいました。そこで、何とか人口の減少を止め、まちに賑わいを取り戻すための取組みを少しずつ始めています。たとえば、子育てがしやすいまちにするため、子どもたちの病院代を無料にしたり、幌延町に移り住みやすいような環境を整えたり、観光をもっと充実してまちの魅力を持た

くさんの人に伝える工夫を、まちのみんなで作ってみたいと思います。

**【答弁要旨】** トナカイの写真コンテストもとても良い考えだと思います。将来の幌延町を担うみなさんの考えを、もっと聞く機会をつくりたいと思います。



はやさか 早坂 りょう

幌延町は酪農のまちです。ご指摘のあったように、今、雪印メグミルクの製品を返礼品に加えようと準備をしています。きつとたくさんの人に喜んでもらえると思っています。特にバターは、幌延の工場で作られていますので、地場産品として宣伝できればとても良いと思っています。



ひの野 あき

立地地の壁の部分をもっと高くして、さらに六年から七年はもつように関連工事を進めています。

また、ゴミを増やさないようにするためには、今後もリサイクル活動を継続的に、さらに効果的に何ができるかを話し合い、強化することが大切と考えています。その一つとして、現在はまだ計画段階ではありますが、資源ゴミの紙おむつと木材を混ぜ合わせて、ペレットという燃料を作り、専用のストーブやボイラーに使用することで、使用済みの紙おむつをエネルギーとして活用できるようにと考えています。



やぎぬましゅん 柳沼 駿 たらう

いと思います。

**【答弁要旨】** 北海道が示した津波想定では、幌延市街地まで波が来ることは想定されていないため、津波が起きたときの避難場所は特に決めていません。しかし、今後どのような規模の災害が発生するかは分かりませんが、想定し得る最大限の規模の災害に対応できるよう、色々な対策を検討していかなければならないと考えています。

幌延町で配付している防災マップには避難場所を記載しており、避難場所には看板も設置しておりますが、町ホームページや広報誌などを活用して、さらにわかりやすく、町民の皆さんにお知らせができるよう検討していきたいと考えています。

